

天朝山、瓢湖、新江の桜も散りました。季節は移り、いよいよ田植えを始めとして本格的な農作業が始まります。県政便り5月号では、直近県議会での質疑内容を中心にお伝えします。

コロナ禍での企業支援のため、国、県と連携し全力を尽くします!!

新潟県議会議員 帆苅 謙治

薰風爽やかな季節となりました。ゴールデンウイークには観光地や山菜取りに出かけた方、また田植え等の農作業で忙しかった方も多いと思います。

県政便り5月号は、私が所属する産業経済委員会の直近の質疑応答のうち「コロナ禍での企業支援」についてお伝えします。

質問はいずれも私帆苅謙治、答弁は県の関係部局です。

質問 令和3年度は、感染症対策として国からの補正予算により施策を講じてきたと思うが、反省点等を踏まえた4年度予算の方向性を問う。

答弁 感染症拡大の影響を受けた事業者に対し、様々な経営支援を行い企業の維持、雇用の確保に努めてきた。これにより倒産件数抑制等一定の効果があつた。4年度は感染防止対策と経済活動の両立を図る。

質問 コロナ禍で疲弊した地場産業対策としての令和4年度予算はどのような内容か。

答弁 営業活動の自粛等による販売不振が続き厳しい状況にある。令和4年度予算是、持続的発展に向けた支援を継続すると共に、今後の成長発展のためのデジタル化、人材育成等ポストコロナを見据えた前向きなものである。

質問 具体的内容であるが伝統工芸品等の産地特産品販売振興及び元本据置期間の延長等を含め適切な支援を行う。

答弁 金融機関、信用保証協会等と連携し、無利子・無担保融資及び元本据置期間の延長等を含め適切な支援を行う。

質問 新事業チャレンジ支援事業への申請と採択状況及びその評価、今後の支援事業継続について問う。

答弁 全採択件数は1,401件、採択率99.1%、全体支援額は12億円弱。事業者の中長期的な事業転換意欲の表れと評価している。4年度では効果を検証し対応する。

質問 海外への県産品輸出について、現在、これまでの国際環境とは異なる。中国、韓国の県事務所の東南アジア親日国家への移転、ロシアとの関係見直し等が必要ではないか。

答弁 コロナ禍により現地での商談会や展示会が出来なくなりオンライン等で海外販路支援を行っている。ウクライナ情勢により不確実な状況にあるため、東南アジア諸国への販路拡大を継続する。懸念頂いた既存の大連事務所、ソウル事務所でも商談実績は上がっている。

質問 産業労働部では中長期の産業労働ビジョンを策定するとのことであるが、県の長期総合計画との齟齬はないか。

答弁 新潟県総合計画は将来目指すべき新潟県の姿を網羅的に明らかにし、県政運営の総合的基本的指針として最上位にある計画である。産業労働ビジョンは部門別計画であり、総合計画の補完的な位置付けである。

質問 コロナ禍により観光産業は大打撃を受けている。まん延防止等重点措置解除を受け、今後の施策を問う。

答弁 3月9日より県民割キャンペーン新規予約を再開した。ゴールデンウイークを除く5月末まで延長する予定。スキーのON-割も同様に延長する。

質問 インバウンド再開に向けた取組について問う。

答弁 いつ再開しても良いように進める。海外に置いている観光コーディネーターを活用し海外エージェントへのセールス活動に取り組む。

質問 いつ再開しても良いよう

答弁 3月9日より県民割キャンペーン新規予約を再開した。ゴールデンウイークを除く5月末まで延長する予定。スキーのON-割も同様に延長する。

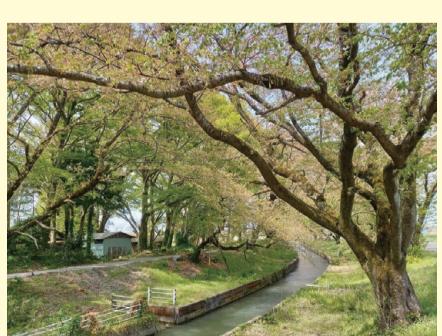
質問 インバウンド再開に向けた取組について問う。

答弁 いつ再開しても良いよう

質問 観光資源としても重要であり、創設した県の伝統工芸品指定制度をPR用に活用頂くな

質問 観光文化スポーツ部設置のねらいを問う。

答弁 観光、文化、スポーツに関する組織を集合することにより、交流人口拡大を一体的に推進するものである。



新江の葉桜(4月19日)



新江の満開の桜(4月12日)

1週間の季節の移ろい…新緑の候へ(砂山地区定点撮影)

枝豆集出荷選別施設竣工

J.Aささかみ（4月1日からJ.A新潟かがやき）が建設を進めてきた「えだまめ集出荷選別施設」が3月22日に竣工しました。この施設では、枝豆の洗浄・脱水、選別、計量、包装までを自動で行うことができます。



市民の声

子ども食堂でつなぐ地域の絆

『だしの風食堂』店主
五十嵐 正人さん

「だしの風子ども食堂」という名称で普段の食堂営業の傍ら、月一回第2木曜日、子ども食堂をやっています。

何より自分が挑戦することを心に留めておくようと名乗らせていただいています。

子ども食堂は資金繰り、人員、食材、社会情勢等さまざまなお困り事で活動を続けていくのが困難な中、多くの人の協力のもと形を変えつつ続けてくる事ができました。

続けていく中で、スタッフにも一人一人活躍して欲しく弁当配布以外にもイベントをやるようになります。その中で子供達の目の輝く瞬間やスタッフの活躍する姿を目にするたび、心が動かされます。

「だしの風」とは阿賀野市安田地区に吹く強風で被害をもたらす一方、山から海へ吹き下ろす船出に適した風という意味もあることを知り、挑戦する人を応援し、

とで、生産農家の作業を効率化するこ

とで、生産農家の作業を効率化するこ

とともに、えんだまの作付面積の大規模化、所得増などにつなげていく



完成した枝豆集出荷選別施設



枝豆集出荷選別施設竣工式

円以上の園芸产地になることを目指しています。

ソフィアローレンとマストロヤンニが熱演したイタリア映画「ひまわり」は、第一次世界大戦のソ連戦線に従軍したイタリア兵士と彼を待つ女が、戦争によって引き裂かれる悲しい愛の物語である。舞台は、美しいひまわり畑がどこまでも広がるウクライナの大地である。

2月24日、このウクライナにロシア軍が侵攻した。目を疑うばかりの悲惨な光景がテレビ画面に映し出された。軍事施設への攻撃のみならず市民の大量虐殺も行われている。まさに戦争犯罪である。ロシアは、2014年にもクリミア半島を一方的に併合した。東部2州もロシアが勝手に独立を承認した。ロシアは、ソ連時代と全く変わらない専制主義、全体主義の国と化した。日本を始めとする自由主義国家は、『力による現状変更』を断じて許してはならない。

ロシアとウクライナは小麦の大生産地で、両国合わせて世界の30%の小麦を輸出している。その他にも、ロシアは化石燃料の输出大国である。経済制裁により、世界的にエネルギー危機、食糧危機が差し迫っている。特に、最貧国では食糧危機により餓死者が出るとみられている。

一方、日本では米余りにより

けんじの勝手考

米価が下落している。世界的な食糧危機が叫ばれる中、単なる資金援助ではなく倉庫に眠る多量の米を政府が買い上げ、ウクライナ避難民受入国や貧困に喘ぐ国々に供給することが、日本の農業にも相応しい支援と考える。

なお、国際間の取決めによる米の輸出入の制約は十分承知しているが、現地には今食料がないのである。国、地方（特に余剰米を抱える本県や東北地方の各県）は共に手を携えて是非とも日本からの米の供給を実現したい。

日本が位置する東アジアでも『力による現状変更』の試みが進んでいる。日米同盟、クワッドそして東南アジア諸国との連携をより強化していく必要がある。ロシアによるウクライナ侵略は『力による現状変更』の最たるものである。ロシアに続く膨張指向の国への警告のためにも、ウクライナの全領土と主権は完全に回復されなければならない。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

大勢の方から沢山の反響を頂いています。



活動動画を発信しています。



◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。